



2023年6月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月18日

上場会社名 北川精機株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6327 URL <https://kitagawaseiki.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内田 雅敏
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 西田 圭司 TEL 0847-40-1200
 定時株主総会開催予定日 2023年9月27日 配当支払開始予定日 2023年9月28日
 有価証券報告書提出予定日 2023年9月28日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（投資家・アナリスト）

（百万円未満切捨て）

1. 2023年6月期の連結業績（2022年7月1日～2023年6月30日）

（1）連結経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期	6,462	28.4	735	43.5	804	19.3	702	19.5
2022年6月期	5,032	4.4	512	△5.3	674	23.3	588	19.4

（注）包括利益 2023年6月期 753百万円（30.5%） 2022年6月期 577百万円（8.3%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年6月期	99.19	—	22.4	9.1	11.4
2022年6月期	83.28	—	23.5	9.2	10.2

（参考）持分法投資損益 2023年6月期 ー百万円 2022年6月期 ー百万円

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年6月期	8,940	3,502	39.2	493.37
2022年6月期	8,836	2,774	31.4	392.85

（参考）自己資本 2023年6月期 3,502百万円 2022年6月期 2,774百万円

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年6月期	186	△143	△163	2,498
2022年6月期	1,399	△316	12	2,609

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年6月期	—	0.00	—	6.00	6.00	42	7.2	1.7
2023年6月期	—	0.00	—	8.00	8.00	56	8.1	1.8
2024年6月期（予想）	—	0.00	—	8.00	8.00		10.3	

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年6月期の連結業績予想（2023年7月1日～2024年6月30日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	3,300	48.6	340	72.4	330	81.2	280	88.3	39.44
通期	6,000	△7.2	680	△7.5	660	△18.0	550	△21.8	77.48

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 ② ①以外の会計方針の変更：無
 ③ 会計上の見積りの変更：無
 ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

2023年6月期	7,649,600株	2022年6月期	7,649,600株
2023年6月期	551,089株	2022年6月期	586,289株
2023年6月期	7,087,131株	2022年6月期	7,060,413株

(参考) 個別業績の概要

1. 2023年6月期の個別業績（2022年7月1日～2023年6月30日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期	6,213	28.0	696	46.0	765	20.2	667	19.3
2022年6月期	4,854	4.9	477	△7.2	636	22.7	560	18.8

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期	94.25	—
2022年6月期	79.32	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
2023年6月期	8,573	3,221	3,221	3,221	37.6	453.84	453.84	
2022年6月期	8,495	2,527	2,527	2,527	29.7	357.81	357.81	

(参考) 自己資本 2023年6月期 3,221百万円 2022年6月期 2,527百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想は、本資料発表時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	7
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	8
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(セグメント情報等)	9
(1株当たり情報)	9
(重要な後発事象)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の社会に与える影響が、行動制限などの緩和により収束に向かい、経済活動は持ち直しの動きがみられたものの、長期化するロシア・ウクライナ情勢に起因する資源・エネルギー価格高騰や不安定な為替相場など、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況のもと当社グループは、中期経営計画「持続的進化への挑戦 ～ 社会と共に成長する強いK I T A G A W A ～」の2年目に入り、環境の変化に合わせ、より機動的・能動的に市場の動きを捉えて収益機会を確実に獲得するとともに、将来に向けて持続可能な成長基盤を堅固なものとするを目標として、引き続き3つの重点項目「既存事業での技術的深化と新規事業への経営資源集中による持続的成長の岩盤造り」「市場拡大に合わせた生産能力増強と収益性・競争力・製品／サービス品質向上の両立」「活力溢れる強い組織作りとそれを支えるデジタル化の推進」に取り組んでおります。

この結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高6,462百万円（前期比28.4%増）、営業利益735百万円（前期比43.5%増）、経常利益804百万円（前期比19.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益702百万円（前期比19.5%増）となりました。

なお、当社グループの主要製品は、案件毎に個別の仕様に基づいて設計・製造を行うため、納期・受注金額にバラつきがあり、大型案件になるほど売上までに長期間を要し、四半期単位での売上高が大きく変動するという特徴があります。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

(産業機械事業)

豊富な受注残高を背景に銅張積層板・多層基板成形用のプレス装置、自動車部品・樹脂成形用プレス装置、搬送機械など売上が好調に推移したことに加え、工場稼働率が高水準で推移し生産効率が向上したことや、調達体制の見直しなどのコスト圧縮策を推進した結果、売上高6,301百万円（前期比29.7%増）、営業利益726百万円（前期比46.8%増）となりました。

(その他)

油圧機器は、売上高160百万円（前期比7.6%減）、営業利益6百万円（前期比68.3%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

総資産は8,940百万円となり、前連結会計年度末に比べて104百万円の増加となりました。増加の主なもの、電子記録債権668百万円、機械装置及び運搬具（純額）100百万円、投資有価証券76百万円、減少の主なもの、現金及び預金111百万円、受取手形、売掛金及び契約資産262百万円、仕掛品259百万円であります。

(負債)

負債は5,438百万円となり、前連結会計年度末に比べて622百万円の減少となりました。増加の主なもの、流動負債その他171百万円、減少の主なもの、支払手形及び買掛金222百万円、電子記録債務312百万円、契約負債182百万円、長期借入金121百万円であります。

(純資産)

純資産は3,502百万円となり、前連結会計年度末に比べて727百万円の増加となりました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益702百万円の計上と、配当金の支払い42百万円によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は2,498百万円となり、前連結会計年度末に比べ111百万円の減少となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は186百万円（前期は1,399百万円の獲得）となりました。収入の主なもの、税金等調整前当期純利益804百万円、棚卸資産の減少額247百万円、未払金の増加額173百万円、支出の主なものは、仕入債務の減少額535百万円、売上債権の増加額406百万円、契約負債の減少額182百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は143百万円（前期は316百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出126百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は163百万円（前期は12百万円の獲得）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出121百万円、配当金の支払額42百万円であります。

(キャッシュ・フロー関連指標の推移)

	2021年6月期	2022年6月期	2023年6月期
自己資本比率 (%)	38.1	31.4	39.2
時価ベースの自己資本比率 (%)	81.8	38.9	63.3
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	7.4	1.2	8.4
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	8.9	70.0	10.8

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

1. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。
2. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに算出しております。
3. キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。
4. 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

当社は、当社グループのコア事業である「産業機械事業」において、温度制御、圧力制御、真空制御、動作制御の4つを融合させた「複合制御システム」を基本に先端技術との融合を図りながら、プリント基板成形プレス装置の開発をはじめ、樹脂成形装置、FAシステムなどの開発製造など、独創的で高性能な製品の開発を通じて幅広い業界のものづくりを支えてきました。「英知と創造」の経営理念の下、これからも独創的製品でお客様の信頼に応え、社会に貢献していきます。

今後の経済動向は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い経済活動の回復が期待されるものの、ロシア・ウクライナ情勢に起因する資源・エネルギー価格高騰や不安定な為替相場など、依然として先行き不透明な状況が続くものと予測されます。

このような状況のもと当社グループは、2021年7月から2024年6月までを計画期間とする中期経営計画「持続的進化への挑戦 ～ 社会と共に成長する強いK I T A G A W A ～」（詳細は当社ホームページ＜株主・投資家向け情報⇒IR資料室⇒中期経営計画＞をご覧ください）の最終年度を迎え、引き続き、環境の変化に合わせ、より機動的・能動的に市場の動きを捉えて収益機会を確実に獲得するとともに、将来に向けて持続可能な成長基盤を堅固なものとするを旨とし、諸施策に取り組んでまいります。

次期（2024年6月期）の業績予想につきましては、売上高6,000百万円、営業利益680百万円、経常利益660百万円、親会社株主に帰属する当期純利益550百万円を見込んでおります。

なお、業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる可能性があります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

今後の事業展開や内部留保等を総合的に勘案した結果、当期の配当につきましては、1株当たり8円の期末配当を実施する予定であります。

次期の配当につきましては、1株当たり8円の期末配当を実施する予定であります。

【基本方針】

当社は、成長投資と安定した株主還元を両立し、継続的な株主価値向上を図るため、資本政策、株主還元の基本方針を次のとおり定めております。

《資本政策》

当社は、財務の健全性・資本効率・株主還元の観点から、バランスのとれた最適な資本構成のもと、継続的に企業価値を向上させることを基本とする。

《株主還元》

当社は、財務体質の強化と今後の事業展開への対応（技術革新と競争力保持、新市場開拓のための設備投資・人材育成・研究開発など）を図るために必要な内部留保を確保しつつ、安定的な配当の維持を基本方針に、株主の皆様への利益還元を充実していくことが、重要な経営課題の一つと認識する。また、資本効率と株主還元水準のさらなる向上を図るため、自己株式取得を必要に応じて機動的に実施する。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準で連結財務諸表を作成しております。なお、IFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当連結会計年度 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,609,561	2,498,018
受取手形、売掛金及び契約資産	1,929,547	1,667,172
電子記録債権	44,644	713,077
商品及び製品	22,599	428
仕掛品	1,943,429	1,684,389
原材料及び貯蔵品	155,365	188,250
その他	150,795	140,807
貸倒引当金	△5,485	△58,189
流動資産合計	6,850,459	6,833,956
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	654,305	616,288
機械装置及び運搬具（純額）	62,023	162,031
土地	962,660	962,660
その他（純額）	75,302	55,621
有形固定資産合計	1,754,292	1,796,602
無形固定資産	25,652	22,511
投資その他の資産		
投資有価証券	71,839	148,544
繰延税金資産	94,634	90,293
その他	49,138	58,677
貸倒引当金	△9,790	△9,790
投資その他の資産合計	205,822	287,724
固定資産合計	1,985,767	2,106,839
資産合計	8,836,226	8,940,795

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当連結会計年度 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	543,525	321,017
電子記録債務	1,222,409	909,507
短期借入金	1,000,000	1,000,000
1年内返済予定の長期借入金	121,416	121,416
契約負債	1,910,347	1,727,531
未払法人税等	76,721	100,445
賞与引当金	23,426	23,583
製品保証引当金	34,000	30,500
その他	182,452	354,119
流動負債合計	5,114,299	4,588,120
固定負債		
長期借入金	563,129	441,713
役員退職慰労引当金	2,456	3,105
退職給付に係る負債	377,776	402,101
その他	3,776	3,559
固定負債合計	947,138	850,478
負債合計	6,061,437	5,438,598
純資産の部		
株主資本		
資本金	300,000	300,000
資本剰余金	661,216	658,213
利益剰余金	2,092,116	2,752,684
自己株式	△327,919	△308,231
株主資本合計	2,725,413	3,402,666
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,244	76,214
為替換算調整勘定	25,130	23,314
その他の包括利益累計額合計	49,375	99,529
純資産合計	2,774,789	3,502,196
負債純資産合計	8,836,226	8,940,795

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)	当連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)
売上高	5,032,385	6,462,241
売上原価	3,921,458	5,045,024
売上総利益	1,110,927	1,417,216
販売費及び一般管理費	598,371	681,732
営業利益	512,555	735,484
営業外収益		
受取利息	769	839
受取配当金	679	935
為替差益	135,941	68,116
補助金収入	66,772	9,866
その他	10,484	9,754
営業外収益合計	214,647	89,512
営業外費用		
支払利息	20,290	17,660
固定資産除却損	30,510	1,380
その他	2,093	1,327
営業外費用合計	52,894	20,368
経常利益	674,307	804,628
税金等調整前当期純利益	674,307	804,628
法人税、住民税及び事業税	91,325	120,146
法人税等調整額	△5,039	△18,465
法人税等合計	86,285	101,680
当期純利益	588,022	702,947
親会社株主に帰属する当期純利益	588,022	702,947

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)	当連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)
当期純利益	588,022	702,947
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△25,890	51,970
為替換算調整勘定	15,072	△1,815
その他の包括利益合計	△10,817	50,154
包括利益	577,204	753,102
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	577,204	753,102

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自2021年7月1日 至2022年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	300,000	660,987	1,539,368	△332,729	2,167,625
当期変動額					
剰余金の配当			△35,273		△35,273
親会社株主に帰属する当期純利益			588,022		588,022
自己株式の処分		229		4,810	5,039
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	229	552,748	4,810	557,788
当期末残高	300,000	661,216	2,092,116	△327,919	2,725,413

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	50,135	10,057	60,193	2,227,818
当期変動額				
剰余金の配当				△35,273
親会社株主に帰属する当期純利益				588,022
自己株式の処分				5,039
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△25,890	15,072	△10,817	△10,817
当期変動額合計	△25,890	15,072	△10,817	546,970
当期末残高	24,244	25,130	49,375	2,774,789

当連結会計年度(自2022年7月1日 至2023年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	300,000	661,216	2,092,116	△327,919	2,725,413
当期変動額					
剰余金の配当			△42,379		△42,379
親会社株主に帰属する当期純利益			702,947		702,947
自己株式の処分		△3,003		19,687	16,684
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△3,003	660,567	19,687	677,252
当期末残高	300,000	658,213	2,752,684	△308,231	3,402,666

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	24,244	25,130	49,375	2,774,789
当期変動額				
剰余金の配当				△42,379
親会社株主に帰属する当期純利益				702,947
自己株式の処分				16,684
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	51,970	△1,815	50,154	50,154
当期変動額合計	51,970	△1,815	50,154	727,406
当期末残高	76,214	23,314	99,529	3,502,196

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)	当連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	674,307	804,628
減価償却費	87,637	85,060
株式報酬費用	—	12,513
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,786	156
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	635	649
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△10,000	△3,500
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,485	52,704
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	24,532	24,324
受取利息及び受取配当金	△1,449	△1,774
支払利息	20,290	17,660
為替差損益 (△は益)	△6,978	△10,788
固定資産売却損益 (△は益)	△537	△263
固定資産除却損	30,510	1,380
売上債権の増減額 (△は増加)	△529,768	△406,103
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,116,583	247,582
仕入債務の増減額 (△は減少)	907,035	△535,352
前渡金の増減額 (△は増加)	24,613	△27,148
契約負債の増減額 (△は減少)	1,458,767	△182,305
未払金の増減額 (△は減少)	△1,391	173,045
未払費用の増減額 (△は減少)	△6,708	3,993
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△32,200	38,187
その他	△14,353	4,985
小計	1,511,631	299,634
利息及び配当金の受取額	1,449	1,774
利息の支払額	△19,997	△17,344
法人税等の支払額	△93,123	△97,377
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,399,960	186,687
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△298,332	△126,404
有形固定資産の売却による収入	537	263
無形固定資産の取得による支出	△11,635	△4,907
投資有価証券の取得による支出	△1,772	△1,927
保険積立金の積立による支出	△5,173	△6,512
その他の収入	20	20
その他の支出	△27	△3,775
投資活動によるキャッシュ・フロー	△316,382	△143,243
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	150,000	—
長期借入金の返済による支出	△107,136	△121,416
自己株式の売却による収入	5,039	—
配当金の支払額	△35,133	△42,194
財務活動によるキャッシュ・フロー	12,769	△163,610
現金及び現金同等物に係る換算差額	19,857	8,623
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,116,204	△111,542
現金及び現金同等物の期首残高	1,493,357	2,609,561
現金及び現金同等物の期末残高	2,609,561	2,498,018

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前連結会計年度(自2021年7月1日 至2022年6月30日)及び当連結会計年度(自2022年7月1日 至2023年6月30日)

当社グループの報告セグメントは、「産業機械事業」のみであり、その他の事業セグメントは開示の重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)	当連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)
1株当たり純資産額	392円 85銭	493円 37銭
1株当たり当期純利益	83円 28銭	99円 19銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)	当連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	588,022	702,947
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	588,022	702,947
普通株式の期中平均株式数(千株)	7,060	7,087

(重要な後発事象)

該当事項はありません。